

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 9:30～午後 3:30

No.254 2019年1月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086

発行責任者 中 秀 晃
編 集 坂田 祐美
定価 50 円(会費を含む)

新年のご挨拶

会長 池田 充

初春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明けから大雪による交通麻痺があり、さらに豪雨や台風の被害、そして大規模地震など、各地で災害が続きました。今や、いつどこで災害が起きないとも限りません。

私たち透析患者は、災害が起きてもただ避難するだけでなく、透析治療の確保が必要です。そのための対策を講じていただけるよう、今年も行政や県議会等に申し入れを継続していきます。

また、高齢化が進んでいます。全国の高齢化は30%目前となってきました。透析患者の高齢化はすでに60%を超えています。これに伴い、透析治療はもとより、そのための通院手段も問題となっています。私たちの安定した透析生活を維持するためにも、今年もこの問題に取り組んでまいります。

この他にも、仕事をしている患者のための夜間透析の維持、CAPDや移植など慢性腎不全治療を守るための活動を積極的に進めていきます。

しかし、これらの活動を継続するためには、一人でも多くの患者や家族のまとまった声が必要です。これからも皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

最後に皆さんのご健康とご多幸を祈念しまして私の挨拶といたします。



富山県内の透析患者数2,549人に

昨年6月29日から7月1日に神戸市で開催された、第63回日本透析医学会学術集会・総会の統計資料によりますと、2017年末現在の透析患者数は全国で334,505人(前年末より4,896人増)、そのうち富山県は2,549人(前年末より11人減)であることが分かりました。

本会では、年間を通じて会の組織率を割り出す際、この患者数を基準とし推定しています。昨年11月末現在では、会員数1,172人、組織率46%になります。

【2017年末 富山県の透析治療の形態別患者数】

血液透析 等					腹膜透析 等					計
血液透析 (HD)	血液透析濾過 (HDF)	血液濾過 (HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析 (PD)	週1回のHD(F)等と併用	週2回のHD(F)等と併用	週3回のHD(F)等と併用	左記以外の併用	
1,924	501	0	11	3	94	14	1	1	0	2,549

全国的にも、血液透析(HD)は228,089人(68.2%)と最も多く、血液透析濾過(HDF)は、95,140人(28.4%)、在宅血液透析は684人(0.2%)、腹膜透析9,090人(2.7%)などとなっています。

※参考までに2016年末の患者数(富山県)

血液透析 等					腹膜透析 等					計
血液透析 (HD)	血液透析濾過 (HDF)	血液濾過 (HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析 (PD)	週1回のHD(F)等と併用	週2回のHD(F)等と併用	週3回のHD(F)等と併用	左記以外の併用	
2,005	432	0	12	2	85	19	5	0	0	2,560

国会請願署名・募金について

毎年会員の皆様にご協力いただいている署名ならびに募金は、腎臓病患者の生活を守るためにとても大切な活動です。

請願書をまだ提出されていない方は、1 月中でも間に合いますので、よろしく願いいたします。

障害年金受給者等の「所得状況届」について

厚生労働省は 11 月 2 日、障害年金受給者等の負担軽減や日本年金機構の審査事務の効率化を図るため、20 歳前に初診日のある障害基礎年金受給者の所得状況届の省略や、診断書の作成期間を拡大する意向を明らかにしました。

現在、20 歳前に初診日のある障害基礎年金受給者等は、「所得状況届」を毎年 7 月 31 日に提出していますが、2019 年以降は原則不要となる見込みです。対象となるのは、20 歳前障害基礎年金受給者のほか特別障害給付金受給者です。

また、障害年金受給者が 1～3 年毎に提出している「診断書」について、現在は、指定日前 1 ヶ月以内に作成された診断書の提出が求められていますが、今後は 3 ヶ月以内へ拡大され、診断書の作成期間が緩和される予定です。

なお、上記はいずれも 2019 年 7 月から施行される見込みです。



インフルエンザに注意！

インフルエンザ流行のピークは 1 月から 2 月といわれており、ノロウイルスによる冬場の食中毒や感染症が流行するのもこの時期です。

日頃から「手洗い、うがいの徹底」「マスクの着用」「栄養、睡眠を十分にとる」など、感染予防を心がけてください。

また、発熱、おう吐、下痢などの症状がある場合は、透析へ行く前に必ず透析施設へ電話をするようにしましょう。



今後の予定

- 全腎協理事会 1/26～27 東京
- 第 42 回理事会 2/17 サンシップ



青年会員交流会

12 月 9 日(日)、富山大和ロイヤルルームにおいて今年度 2 回目の交流会を開催し 32 名が参加しました。

交流会では、最初に的場青年部長より 8 月の全腎協青年研修会、11 月に実施した「青年層透析患者の治療・生活に関するアンケート調査」(55 歳以下対象)の報告があり、その後、昼食を交えながら意見交換をしました。参加者からは、「上記アンケートを全会員対象に実施してほしい」「非会員に入会を勧めるためのツールがほしい」などの発言がありました。

今回は新潟、石川、福井の青年部長も参加し、交流会後、富山市まちなかサロンにおいて北越ブロック青年部長会議も行いました。



7 月豪雨・台風 21 号・北海道地震への義援金

腎友会	金額	腎友会	金額
県立中央	5,000	泉が丘内科	15,000
城南内科	1,000	射水市民	10,000
富山協立	10,000	河合内科	4,800
政岡内科	8,630	黒部市民	1,212
かみいち総合	17,000	あさひ総合	10,000
厚生連高岡	64,346	砺波総合	3,610
高陵	26,500	南砺市民	1,500
吉田内科	10,000	個人会員	1,000
小島	15,000	合計	204,598

皆様にご協力いただきました義援金 204,598 円(12 月 18 日現在)を 12 月 19 日に全腎協へ送金しました。

この後、全腎協を通じ被災された各県組織へ、会員の被災状況に応じて送られることとなります。

おくやみ

- 河合 適子 殿 市立砺波総合病院 享年 60 歳
 - 白石 靖子 殿 泉が丘内科クリニック 享年 76 歳
 - 馬場 雅子 殿 横田病院 享年 65 歳
 - 大井 利信 殿 黒部市民病院 享年 66 歳
 - 矢野 久夫 殿 黒部市民病院 享年 82 歳
 - 高木 淳子 殿 高陵クリニック 享年 80 歳
 - 小沢 政仁 殿 個人会員 享年 59 歳
 - 富嶋 賀津則 殿 南砺市民病院 享年 63 歳
- 謹んでご冥福をお祈り致します